

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】特開 2004-280822 (P2004-280822A)
 【公開日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-039
 【出願番号】特願 2004-69828 (P2004-69828)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フレームワークを用いてコンピュータプログラムにロジックパターンを実装する方法であって、

データベースに格納されたデータに対応するエンティティを、データ記憶システムで画定することであって、前記エンティティは少なくとも 1 つのデータフィールドを含むこと

、
 前記ロジックパターンを含む少なくとも 1 つのルールを、前記フレームワークで画定すること、

バインドする情報を含むメタデータを、前記フレームワークで画定すること、

前記エンティティに対応するデータの更新に関連付けられたイベントを前記データ記憶システムで自動的にインターセプトすること、

前記イベントに関連付けられたデータおよび前記ロジックパターンに基づいて結果を計算するために前記イベントがインターセプトされると前記バインドする情報に応じて前記少なくとも 1 つのルールを前記少なくとも 1 つのデータフィールドにバインドすることによって、前記データ記憶システムで前記エンティティをインスタンス化すること、および前記結果を前記フレームワーク内のデータフィールドにバインドすることを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

エンティティに対応するデータに関連付けるべき前記ロジックパターンの実装を宣言することをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記イベントは前記エンティティの作成であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記イベントは前記エンティティの更新であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記イベントは前記エンティティを読み取ることを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記イベントは前記エンティティの削除であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記エンティティはエンティティプロパティを含み、前記イベントは前記エンティティプロパティを変更することであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 8】

前記エンティティは前記プロパティを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

第 2 のエンティティは前記プロパティを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

コンピュータに請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載のステップを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 11】

アプリケーションを開発するためのシステムであって、
データベースを有するデータ記憶システムと、
前記データベースに格納された情報に関連付けられた、少なくとも 1 つのデータフィールドを含むエンティティモジュールと、
前記エンティティモジュールに関連付けられ、ロジックパターンを含む少なくとも 1 つのルールと、バインドする情報を含むメタデータとを含むコラボレーションモジュールであって、
前記エンティティに対応するデータの更新に関連付けられたイベントを自動的にインターセプトし、
前記イベントに関連付けられたデータおよび前記ロジックパターンに基づいて結果を計算するために前記イベントがインターセプトされると前記バインドする情報に応じて前記少なくとも 1 つのルールを前記少なくとも 1 つのデータフィールドにバインドすることによって、前記エンティティに関連付け、
前記結果を前記コラボレーションモジュール内のデータフィールドにバインドするように構成されたコラボレーションモジュールと
を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 12】

前記ルールは前記ルールを前記データフィールドにバインドするための情報をさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記エンティティモジュールが前記コラボレーションモジュールとは別個のものであることを特徴とする請求項 11 または 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

データフィールドを含み、前記コラボレーションモジュールをインスタンス化してルールを該データフィールドに関連付けるように構成されている第 2 のエンティティモジュールをさらに含むことを特徴とする請求項 11 乃至 13 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 15】

前記イベントは前記エンティティモジュールの作成であることを特徴とする請求項 11 乃至 14 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 16】

前記イベントは前記エンティティモジュールの更新であることを特徴とする請求項 11 乃至 14 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 17】

前記イベントは前記エンティティモジュールを読み取ることを含むことを特徴とする請

求項 1 1 乃至 1 4 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記イベントは前記データフィールドを変更することであることを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 4 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記コラボレーションモジュールは、前記結果を前記データフィールドにバインドするようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 8 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記コラボレーションモジュールは前記結果を第 2 のデータフィールドにバインドするようにさらに構成されていることを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 9 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記第 2 のデータフィールドは前記エンティティモジュールに含まれることを特徴とする請求項 2 0 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

前記第 2 のデータフィールドは第 2 のエンティティモジュール内に含まれることを特徴とする請求項 2 0 に記載のシステム。